

請願受理番号 2

医師不足対策の抜本的強化を求める請願

(教育民生委員会)

貴議会が、地域住民のいのちと健康をまもるために、諸政策に取り組みられていることに心より敬意を表します。現在、医師不足は地方・都市部を問わず深刻な社会問題となっており、各地で小児科や産科を中心に病院診療科が休診に追い込まれるなど、地域医療が崩壊する危機的状況が生じています。

日本の医師数は、OECD加盟30カ国中27位、WHO加盟国比較でも63位であり、先進国でありながら極めて少ない数です。理由は、政府が「医師が増えると医療費が増える」として、医学部の定員を削減するなど医師数を抑制してきたことにあります。

また、過労死が出るほどの過酷な勤務実態のもとで、勤務医を辞める医師が後をたちません。医師不足のために、国民のいのちと健康が脅かされている今日、国の責任による「緊急対策」と「抜本的な施策」が求められています。

私たちは、山口・防府保健医療圏で暮らす住民と患者さんの命と健康、地域医療を守るため、そして医師の勤務条件を改善して安全・安心の医療を確立するために、国と関係機関・関係団体に下記の「医師不足に対する緊急対策」の実現を強く求めて運動しています。

つきましては、貴議会におかれまして、下記事項につき、地方自治法第99条にもとづく国と関係機関に対する意見書を決議していただきますよう請願いたします。

## 請願事項

- 1 医師の養成数を抜本的に増やすと共に地域への定着のための施策を進めること
- 2 現在の医師の不足数、医師の労働実態を緊急に調査すること
- 3 医師の緊急配置、医師派遣のシステムを構築すること
- 4 産科や小児科などの集約化・重点化をやめ、地域で安心して子供を生み、育てられる体制をつくること
- 5 各地域医療圏の医師の養成・配置計画（仮称「医師等需給計画」）を策定すること
- 6 「医師の需給数」の算定は、労働基準法を遵守したものとすること
- 7 医師の勤務条件の改善のための緊急対策をとること
- 8 女性医師が働き続けられるよう、産休・育休等の子育て支援対策を進めること

平成19年12月4日

### 提出者

山口市八幡馬場53-1

山口日赤病院内

医療の充実をめざす山口県連絡会

会長 磯野有秀

紹介議員 須藤 杲一

紹介議員 山本俊昭

山口市議会議長

武田 寿生 様